

## 2003 年度 委員会活動成果報告

(2003 年 03 月 31 日作成)

委員会名	東洋建築小委員会	主 査 名：片桐正夫
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：陣内秀信
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	アジア各地の建築史研究並びに歴史遺構調査にかかわっている研究者の交流と情報交換、研究成果の公開と共有などを通じて、この分野の発展と向上に資すること。	
委員構成 (委員名(所属))	片桐正夫(日本大学)、岡田保良(国士舘大学)、西本真一(早稲田大学)、浅川滋男(鳥取環境大学)、上野邦一(奈良女子大)、佐藤浩司(国立民俗学博物館)、田中淡(京都大学)、布野修司(京都大学)、野々垣篤(名古屋大学)、稲葉和也(東海大学)、重枝豊(日本大学)、中西章(東工大工業高校)、山田幸一(都立大学)、黒津高行(日本工大)	
設置 WG (WG 名:目的)	『東洋建築史図集』改訂に関する WG (東洋建築史図集改訂するため)	
2003 年度予算	230,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 1 回小委員会と拡大円卓会議 (2003 年 12 月 20 日、20 人) 第 2 回小委員会と拡大円卓会議 (2004 年 2 月 18 日、12 人)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 拡大円卓会議においては、第 1 回ベトナムの民家研究の状況について、チャンティクエハー(都立大学・大学院) コメンテーター：大場修(京都府立大)、第 2 回目は中国における民家研究の状況 土田充義(鹿児島大学名誉教授)の講演を行い、会員相互の情報交換をおこなった。広く情報を公開することによって、参加者に多くの新情報をもたらした。 また、アジア各地の在日留学生の参加を広く求め、学会が交流の場となるように活動の輪を広げている。 『東洋建築史図集』改訂 WG においては、改訂に向けて新情報の組み入れや、読者に対するビジュアルな対応などについて議論をおこなっている。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 以上の事業はこれまで東洋建築史小委員会における継続事業であり、広く会員に情報提供し交流の場をもたらすことができたと考えている。
その他評価すべき事項	